

実証実験概要書

つくば市立中央図書館向け 図書返却ソリューションの実証実験

(団体名) 三菱電機株式会社

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

提案に至る背景

図書館の本を返却するために、一時的に路上に駐車するなどして交通の障害になる事例が散見され、利用者の利便性に問題がある。また、図書館職員の作業負荷軽減などが望まれている。

実証実験の目的

図書館まで行かずに本を返却できることで利便性が向上し、無料駐車場近くで本を返却できることから、一時的な路上駐車による交通障害が解消する。また、図書館職員の図書運搬の負荷が軽減する。

実証実験の概要

【内容】

自動搬送ロボットを活用し、図書館利用者が借りた図書の返却サービスを実現する。ロボットをつくば駅周辺で走行させ、つくば市立中央図書館向けの本の返却を利用者から受け付け、図書館のカウンターにいる職員に配送する。



【期間】

2023年1月

【体制】

三菱電機株式会社

検証したい内容

図書館利用者には本の返却を図書館まで行かずに済む利便性向上、図書館側には職員が図書返却ボックスから図書を運搬する際の負荷軽減などの価値が提供できるかを検証する。アンケートにてフィードバックを集める。

市が行う支援内容

- ・実証実験場所の選定・調整・提供
- ・実証実験協力者の紹介・調整
- ・実証実験後のフィードバック

期待される効果・実現を目指す未来社会

今回は図書返却をモチーフとして検証を行い、自動搬送ロボットを用いた自治体サービスへ展開していく。そして、市や地域が抱える課題の解決、市民生活の質、都市活動の効率性等の向上を図るスマートシティの実現につなげていく。